

Ⅲ 豪雨・大雨災害被害と復旧・復興

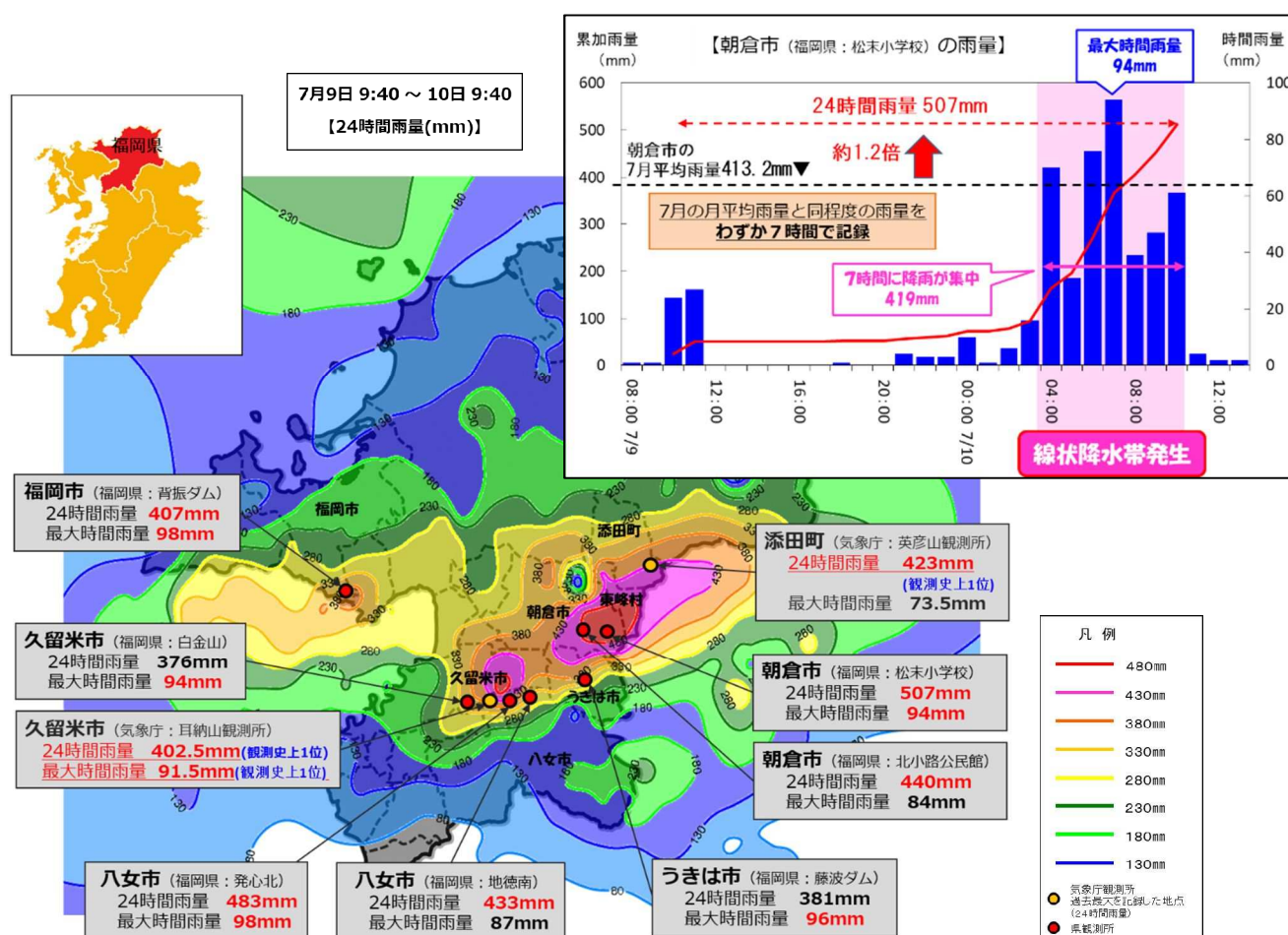
(県土整備企画課)

Ⅲ 豪雨・大雨災害被害と復旧・復興

1 令和5年7月の豪雨

(1) 降雨の状況

- 福岡県では、7月10日未明から昼前にかけて県内各地で相次いで線状降水帯が発生し、全国で最多となる6回目の「大雨特別警報」発表
- 県内の7観測所で、24時間雨量が7月平均雨量約400mmを超過（このうち久留米市、添田町の2観測所で過去最大雨量を観測）
- 県内の6観測所で、最大時間雨量90mmを超える雨量を観測（このうち久留米市の1観測所で過去最大雨量を観測）



《近年発生した豪雨・大雨との比較》

	主な被災地域	累加雨量		最大時間雨量
令和5年7月の豪雨	筑後地域・福岡地域南部・筑豊地域南部	507mm (419mm)	24h (7h)	98mm/h
令和3年8月豪雨	筑後地域・福岡地域南部・筑豊地域南部	718.5mm	72h	72mm/h
令和2年7月豪雨	大牟田市・久留米市	727mm	48h	105mm/h
令和元年8月の大雨	八女市・久留米市 朝倉市	422mm (235mm)	24h (6h)	87mm/h
平成30年7月豪雨	県内の広い範囲	602mm	48h	74mm/h
平成29年7月九州北部豪雨	朝倉市・東峰村	894mm (774mm)	54h (9h)	124mm/h

(2) 被害状況

主な被害状況

死者	床上浸水	床下浸水	道路	河川	土砂災害
5名	1,129件	2,311件	752件	552件	166件

R5.8.14 時点 7月7日からの大雨に関する情報(第36報・最終報)より



千之尾川土砂災害土砂災害（久留米市田主丸町）



巨瀬川堤防決壊（久留米市田主丸町）

(3) 復旧事業（県実施分）

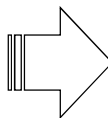
	原形復旧※			改良復旧	
施設	道路	河川	砂防	河川	砂防
全数	79	160	15	8	7
完了	33	113	7	0	0
進捗率	41.8%	70.6%	53.8%	-	-

単位：箇所

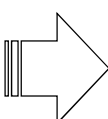
※改良復旧事業の親災を除く

令和7年1月31日時点

ア 原形復旧



室見川（福岡市早良区石釜）復旧状況

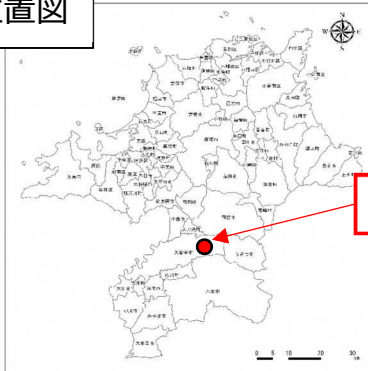


国道211号（東峰村小石原鼓）復旧状況

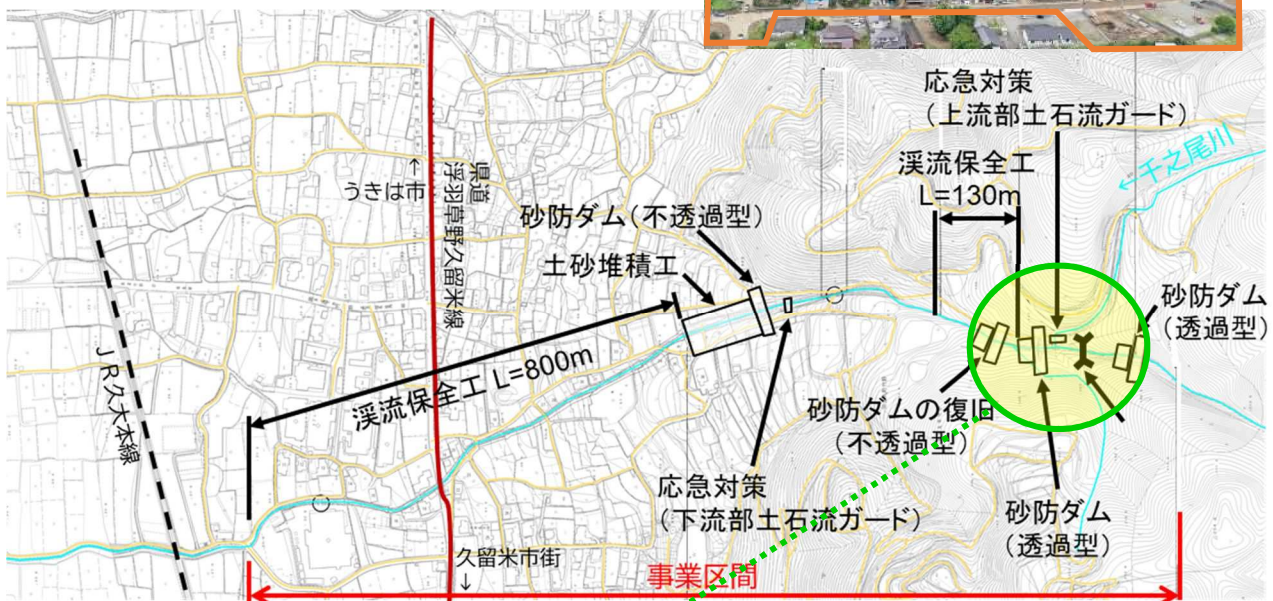
イ 改良復旧 ・千之尾川

- 一級河川筑後川水系千之尾川（福岡県久留米市田主丸竹野）は、令和5年7月の豪雨により、土石流災害が発生したため、特定緊急砂防事業により砂防施設の整備を計画的・集中的に実施することにより、早期に安全度を向上させる。
- 砂防施設を整備することで、人家36戸、官公庁舎、県道等の重要なインフラライフラインを土石流による被害から保全する。

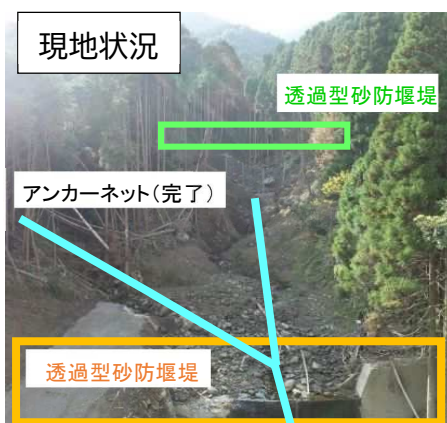
位置図



被災状況



現地状況



砂防堰堤本体 施工中

ウ 浸水対策

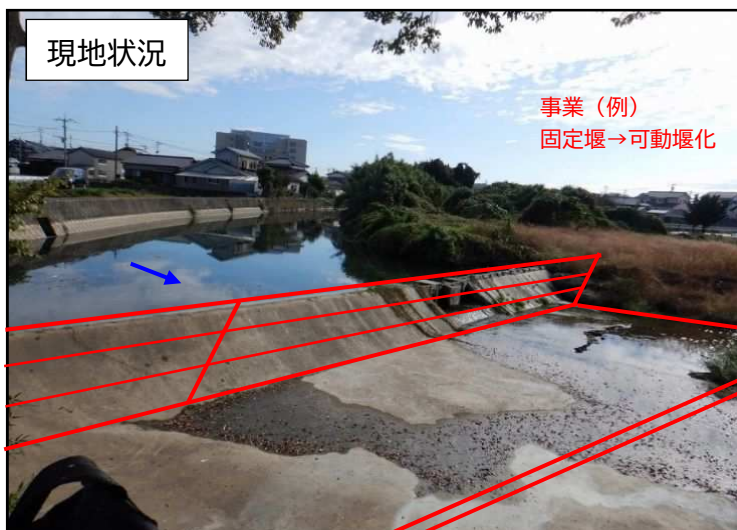
・ 広川

筑後川水系広川浸水対策重点地域緊急事業

- 令和5年7月の豪雨により、床上浸水62戸、床下浸水250戸の甚大な浸水被害が発生したことを受け、浸水対策重点地域緊急事業により、堰改築等を集中的に実施し、令和5年7月豪雨と同規模の洪水に対して、河川からの氾濫による床上浸水被害の9割解消を目指す。



写真 令和5年7月の豪雨による浸水被害（八女郡広川町）



※各対策は、今後実施する詳細な調査や検討等の結果により、変わる可能性がある。

・巨瀬川

筑後川水系巨瀬川災害復旧助成事業、浸水対策重点地域緊急事業

- 令和5年7月の豪雨により、福岡県管理区間において床上浸水290戸、床下浸水812戸の甚大な浸水被害が発生したことを受け、災害復旧助成事業及び浸水対策重点地域緊急事業に着手しており、令和5年7月豪雨と同規模の洪水に対して、河川からの氾濫による床上浸水被害の解消を目指す。



写真 令和5年7月の豪雨による浸水被害（巨瀬川流域）



※各対策は、今後実施する詳細な調査や検討等の結果により、変わる可能性がある。

調節池予定箇所

2 近年発生した豪雨・大雨災害の被害と復興

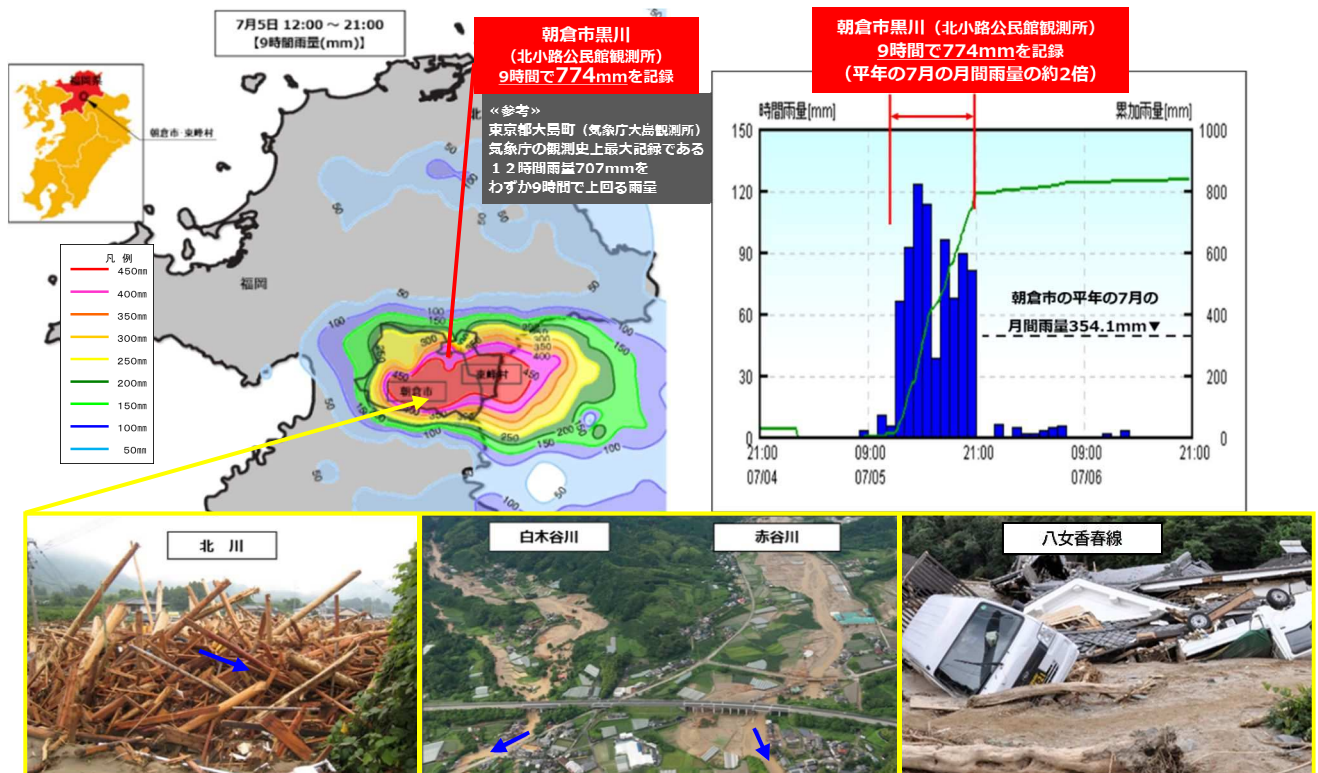
平成29年の九州北部豪雨から令和3年8月の大雨まで、福岡県では全国で唯一5年連続して大雨特別警報が出されました。県土整備部では被災地の復旧・復興に向けて全力で取り組んでいます。

(1) 降雨の状況

近年の豪雨・大雨災害においては、6時間～72時間の短時間雨量が月間雨量の数倍となり、各所で甚大な被害が発生しています。（P13 近年発生した豪雨・大雨との比較参照）

・平成29年7月九州北部豪雨

- 福岡県の朝倉市、東峰村を中心としたエリアにおいて、**わずか9時間で774mmという、短時間に記録的豪雨を観測** <福岡県観測：朝倉市黒川（北小路公民館観測所）7月5日12時から21時>
 ⇒ **観測史上最大の記録である12時間雨量707mmを上回る雨量**
 <気象庁観測：東京都（大島観測所）H25.10.16>
 ⇒ **朝倉市の7月平均月間雨量の2倍を超える雨量**



(2) 被害状況

・近年発生した各豪雨・大雨における主な被害状況

被害総括表

被害	死者	床上浸水	床下浸水	道路	河川	砂防
単位	人	棟	棟	箇所	箇所	箇所
H29	37	22	597	613	463	45
H30	4	929	2,461	1,487	375	—
R1.7	—	148	313	114	47	—
R1.8	1	120	349	378	161	—
R2	2	648	1,383	961	333	—
R3	—	360	1,210	481	133	—

平成29年～令和3年各年の災害年報より

(3) 復旧事業

ア 原形復旧

令和4年度までに発生した災害において、原形復旧工事はすべて完了しています。

イ 改良復旧

・近年発生した各豪雨・大雨における改良復旧状況

	道路(区間)			河川(km)			砂防(箇所)		
	全数	完成	完成率	全数	完成	完成率	全数	完成	完成率
H29	3	3	100%	98.4	98.4	100%	57	57	100%
H30	-	-	-	0.6	0.6	100%	10	10	100%
R1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R2	-	-	-	-	-	-	9	8	89%
R3	-	-	-	-	-	-	3	1	33%



本迫川砂防堰堤完成(朝倉郡東峰村)



普光寺川事業状況(大牟田市)

ウ 浸水対策

平成31年度・令和2年度に浸水対策重点地域緊急事業に着手し浸水対策を進めています。

河川名	事業開始	進捗状況
筑後川水系金丸川・池町川	R2	事業中
筑後川水系下弓削川	R2	R4完了
筑後川水系山ノ井川	H31	R5完了
遠賀川水系庄内川	H31	R6完了
遠賀川水系庄司川	R2	R6完了



流出施設内部



放水路内部

筑後川水系金丸川・池町川
放水路事業状況(久留米市)

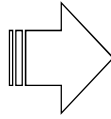


地下調節池内部

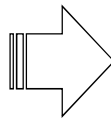
筑後川水系金丸川・池町川
地下調節池事業状況(久留米市)

＜被災箇所の現況＞【参考】

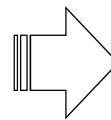
平成29年7月九州北部豪雨



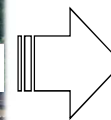
県道甘木吉井線道路決壊(朝倉市黒川)



真竹地区土砂災害(朝倉市杷木松末)



桂川堤防決壊(朝倉市宮野)



赤谷川流域豪雨被害(朝倉市杷木星丸)【写真：九州地方整備局提

平成30年7月豪雨

被災直後



完成後



筑後川水系下弓削川浸水被害(久留米市東合川)

令和元年7月、8月の大雨

被災直後

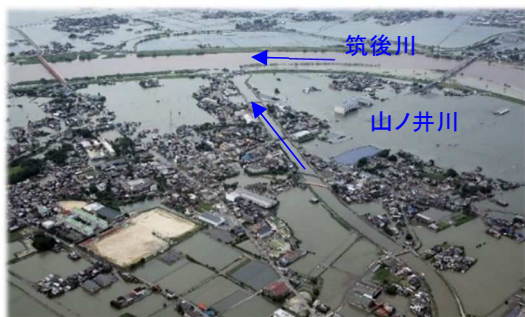


完成後

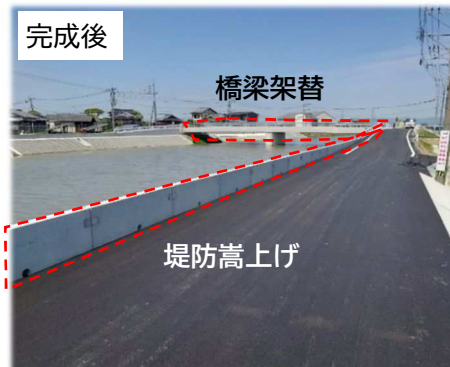


筑後川水系池町川浸水被害(久留米市梅満町)

令和2年7月豪雨



完成後



筑後川水系山ノ井川浸水被害(久留米市城島町)

令和3年8月の大雨

被災直後



整備中



高山地区土砂災害(朝倉市杷木志波)

<平成29年7月九州北部豪雨で採択されたプロジェクト等>【参考】

・「九州北部緊急治水対策プロジェクト」

平成29年7月九州北部豪雨の際、県は、国土交通省に対し、再度災害の防止・軽減を目的に改良復旧事業を強く要望し、これを受け国土交通省は「九州北部緊急治水対策プロジェクト」を発表（H29.12.1）しました。このプロジェクトは、九州北部豪雨で甚大な被害を受けた河川において、概ね5年間（令和4年度目途）で緊急的・集中的に治水機能を強化する改良復旧工事等を河川事業・砂防事業が連携しながら実施するものです。構成事業として、赤谷川・大山川・乙石川、桂川・荷原川・新立川・妙見川、大肥川・宝珠山川、北川、白木谷川の県管理11河川が改良復旧事業として採択されました。（原形復旧費に対する改良復旧費の比率が1対1を超える）中でも、広範囲にわたって被災し埋塞した5河川（赤谷川・大山川・乙石川、北川、白木谷川）については、「一定災」（国庫負担率2/3以上）として事業採択されました※1。

※1 河川の「一定災」採択は、平成23年東日本大震災以来6年ぶりであり、埋塞が著しい河川の災害として初めての採択

・その他の復旧事業

前述のプロジェクト以外に、平成29年12月25日には、疣目川、佐田川の改良復旧事業や奈良ヶ谷川（朝倉市管理）の「一定災」採択も公表され※2、平成30年2月9日には、小河内川（朝倉市管理）、平川（朝倉市管理）の「一定災」採択や県管理道路2路線（甘木吉井線、安谷赤谷線）の災害関連事業採択も公表されました。このほか、損壊の著しい甘木吉井線1区間の「一定災」採択、砂防関係の災害関連緊急事業や砂防激甚災害対策特別緊急事業なども採択されました。

※2 市管理河川の「一定災」採択は、全国で初めての事例

・赤谷川流域における総合的な治水・土砂災害対策の実施（H29 九州北部豪雨）

河川の権限代行（改正河川法 適用第1号）

赤谷川・大山川・乙石川における治水対策について国土交通省は、県の要請（H29.7.14）に応じ、全国で初めてとなる緊急対応の権限代行に着手（H29.7.18）しました。

さらに同年12月には、河道整備や流木等貯留施設の整備など本格的な復旧工事について、権限代行による実施を決定しました。その後令和4年度に河川権限代行工事が完了しました。

直轄砂防事業による土砂災害対策

土砂災害対策について国土交通省は、県からの要望（H29.8.10）に応じ、流域内に堆積した不安定土砂等の再移動による二次災害を防ぐため、緊急的な砂防工事を 国直轄で実施することを決定（H29.8.15）しました。さらに同年12月には流域全体における土砂洪水氾濫を防止するための砂防工事の追加実施を決定しました。

（YouTube 平成29年7月九州北部豪雨災害からの復旧）

